

「壮大なスケール」を秘めた 仮想アース技術の集大成

総販売台数1万3千台を達成した光城精工の仮想アース「クリスタルE」。その上位モデルがいよいよ登場した。世界800台の限定モデル「クリスタルE Jチューン」の基本構成を踏襲しつつ、導体表面積を従来モデルに比べて68%も拡大。実に和室3・6畳以上にも及ぶ有効面積を確保している。コンパクトなボディの中に壮大なスケールを秘めた、同社仮想アース技術の集大成となっている。本項では早速自宅にも導入した小原由夫氏がその魅力をレポートする。

Text by
小原由夫
Yoshio Obara

**新たなプラスト加工により
従来よりも表面積が68%拡大**

仮想アースの今日の静かなブームの中、その市場を押し広げ、同カテゴリ製品の認知度を高めたのは、他ならぬ光城精工である。フォースバー・シリーズを振り出しに、現在までクリスタルEやクリスタルEP等、数多のラインア

ップを輩出してきた。その集大成的位置付けの最上位モデルが、今紹介する「クリスタルE・G」だ。

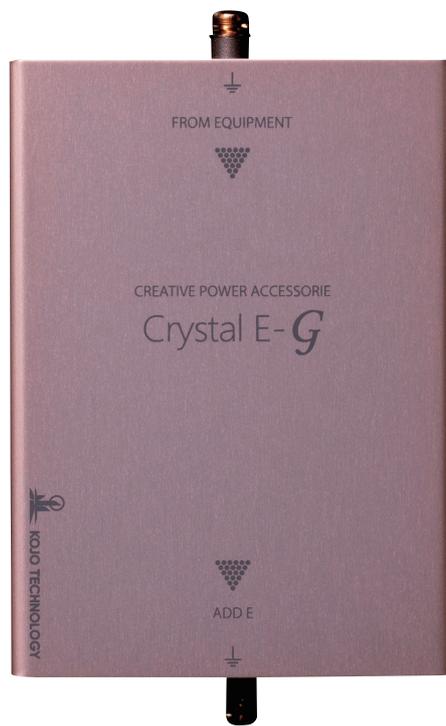
基本構成はクリスタルEとほとんど変わらない。ステンレスに銅、黄銅という3種類の異種金属プレートによる積層構造を採用するが、その表面に施していたサンドブラスト加工は、凹凸を高精度に均一

化したファインブラスト加工になった点が大きなポイント。この他、ターミナルを金メッキ仕様として導電性を高めるとともに、筐体の組み立てネジを中空穴付きタイプとすることで外來振動によるエア抜きを促している。

本機の特徴は、何ととってもその接地面積の大きさだ。前述のファインブラスト加工によって従来



①ステンレス(SUS)／②黄銅／③銅／④黄銅／⑤銅／⑥黄銅／⑦銅／⑧黄銅の8層のレイヤー構造。ここにサンドブラスト加工をさらに高精度化させたファインブラスト加工を採用



KOJO TECHNOLOGY Crystal E-G

¥85,800(税込)
※初回限定版500台は新製品のアースケーブル「Clone1Y6」と「Clone2Y6」を各1本(各¥8,580/税込相当)を同梱

●仮想アース端子:M4×2端子(スチール製金メッキ3点鍋ネジ)●積層表面積:68,000cm²●サイズ:80W×35H×111Dmm(端子や突起物含まず)●質量:約830g●専用アースケーブル×2本付属:RCA-Y端子(M4)の1.2m×1本(金メッキ)、Y端子(M6)-Y端子(M4)の1.2m×1本(金メッキ)●取り扱い:(株)光城精工

**広大な音場と描写力が高まり
映像のコントラストも向上**

品よりも表面積が60%増しとなった上、クリスタルEPで完成させた特殊アルミ電解コンデンサを6基内蔵することで、クリスタルEの68倍に拡大。このシヤンパンゴールド仕上げのコンパクトなボディ内部に、総和で実に和室3・6畳以上にも及ぶ有効面積を確保しているのである。

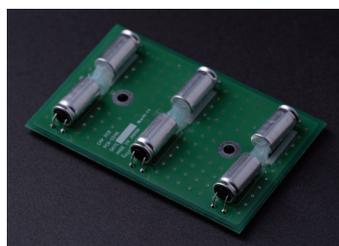
本機の顕著な効能は、ステレオイメージの見晴らし向上に加え、微細な情報の描写力が高まること。CD/SACDプレーヤーのデジタル出力に接続してみたところ、開放的で広々とした音場再現となり、ダイナミックレンジの拡大も感じ取れる。また、ネットワークトランスポートに片側USB

ケーブルのアース線で接続すると、音場の奥行きがグッと深くなった。スピーカーの側端子に接続すると、音のクリアネスが高まると共に、アンプの駆動力が上がったような印象になるから不思議だ。AV機器にも効果絶大。片側がHDMIのアースケーブルを使って接続すると、映像はコントラスト感がアップし、よりヴィヴィッドな色再現に。AVアンプでは3

次元的な音の広がりも拡大される。システム全体の音色の方向性は変えず、再現力を高めてくれるのが本機の魅力と見た。



従来モデル同様に増設も可能。増設用アースケーブルは別売(写真はClone1/02)



特殊アルミ電解コンデンサを6機搭載。その表面積は約66,000cm²(Crystal Epシリーズの6倍)に達し、トータル68,000cm²を確保